

科目名		建築法規Ⅰ			
担当教員		本間 陽貴		実務授業の有無	有
対象学科		建築大工科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築を考えるうえで建築基準法の基礎的な内容を理解しておく必要があります。そのために授業では、建築基準法などの基礎的な内容（主旨）を中心に解説します。基礎的な内容（主旨）を理解でき、法令集で確認できるようになることを目指します。授業の進め方は、講義→2級建築士の試験問題（法令集で確認）→解説を繰り返します。2～4回の授業毎に評価テストを実施し、理解度を確認します。			
学習目標（到達目標）		人々の生命・健康などを守るため建築物の最低の基準である建築基準法・建築基準法施行令を中心にした基本的な内容（主旨）を習得し2級建築士の筆記試験範囲にあたる合格点に達する理解度を目標とします。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①図説やさしい建築法規 著者：今村仁美・田中美都 発行所：（株）学芸出版社 ②建築関係法令集 発行：（株）総合資格学院、③配布プリント			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	法規ができた歴史と改正等			建築基準法の歴史と法令集の扱い方	
2	①建築基準法の概要 ②法令用語の読み方			達成目標：項目①～②の法に関する分類・構成・形式を理解・説明できる 準備学習：教科書①～②の予習	
3	用語の基本定義 ①建築物・建築設備・居室・主要構造部・大規模の修繕 ②模様替え、特殊建築物・指定工作物			達成目標：項目①～②の法に関する条件・規制を理解・説明できる 準備学習：教科書①～②の予習	
4	建築手続き ①確認申請を必要とする建築物、 ②中間検査・完了検査、建築主事 ③特定行政庁・指定確認検査機関 ④建築主、設計者、施工者、建築主事等の役割			達成目標：項目①～④の申請に関わる手続き・検査が理解・説明できる 準備学習：教科書①～④の予習	
5	採光に関する基準 ①居室の採光 ②有効採光面積			達成目標：項目①の居室に採光の必要性が理解・説明できる 準備学習：教科書①の予習	
6	換気に関する基準 ①居室換気の種類 ②アスベスト規制・シックハウスに関する基準			達成目標：項目①～②の居室に換気の必要性が理解・説明できる 準備学習：教科書①～②の予習	
7	構造に関する基準 ①居室の天井の高さ、床の高さ ②地階の住宅等の居室、長屋・共同住宅の各戸の界壁 ③階段、階段に代わる傾斜路			達成目標：項目①～③の条件・規制が理解でき計算ができ説明できる 準備学習：教科書①～③の予習	
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
期末テスト	評価テスト	取組姿勢		建築基準法・建築基準法施行令を中心にした基本的な内容（主旨）を習得し、2級建築士の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する理解度を目標とします。 取組姿勢：出席、授業態度、法令集線引き	
50 %	30 %	20 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		公共・住宅設計に10年従事			